

事例 北多摩地区福祉ネットワーク「たまたま」

東京コロニー（東京都） 〒189-0002 東京都東村山市青葉町2-39-10 TEL.042-395-0452

活動の概要

それぞれの営業活動の中で、自分の施設にない作業種目や自分の施設の作業量を越える商談があった時に、ネットワークを利用して、情報を流し、共同で作業することで、ビジネスチャンスを逃さないようにします。又、各施設にとって有益な情報の提供・交換を行ないます。

法人の概要

東京コロニーの事業目的は、社会就労センター（授産施設・福祉工場）など障害者が働く場やグループホームなどの生活の場を通じ、障害者の「完全参加と平等」を実現していくことにあります。支援費制度における利用者への施設及び生活援助の福祉的支援サービスの向上に努めると共に、一方では共に働く仲間として、さまざまな取り組みを行なっています。

- 経営施設数…10
- 法人全体の年間事業収入…8,579,203千円
- 主な経営施設

授産施設コロニー東村山第二印刷所
平成14年設立、定員50名
身体障害者通所授産施設コロニー印刷所
昭和46年設立、定員45名
身体障害者福祉工場東京都葛飾福祉工場
昭和47年設立、定員50名
身体障害者福祉工場東京都大田福祉工場
昭和50年設立、定員50名

実施施設の概要

- 施設名…トーコロ青葉ワークセンター
- 施設種別…身体障害者、知的障害者、精神障害者通所授産施設 定員90名

施設の運営方針

身体障害者・知的障害者・精神障害者が利用できる定員90名の通所授産施設です。「地域の中で安心して暮らせる社会の実現」を基本として、障害のある人たちの働く場の充実に努力しています。

活動の内容

- 活動対象者…10施設
- 活動の頻度…随時（電話、FAX、メール等利用）
- 活動開始年…平成14年

活動開始の背景（取り組みの経緯）

各施設とも仕事の受注量が不足しており、また、安定した受注ができない状態です。そこで、ネットワークを作り、スクラムを組むことで、少しでも上記の状態を改善し、また、ビジネスチャンスを逃さないことを目的に、近隣の施設間でのネットワークを立ち上げることにしました。

人材・資金面等での工夫、苦慮

ネットワークを組むうえで、事務局に負担をあまりかけないこと、又、各施設の費用負担がないことを前提にしています。従って、商談窓

口は、各施設であったり、顧客との接点がある施設であったりします。事務局は、あくまで、情報の提供を行なうことを主たる業務としています。

■利用者の声、地域の反応

授産施設の悩みとして、安定した仕事の受注があげられると思います。その意味で、お互いの施設が協力し情報交換をすることで、仕事がない時や逆にあふれた時に調整できるようになりました。

まだまだ安定受注までいっていませんが、今後も協力し合っていこうと思います。そうすることで、そこで働く利用者の工賃が少しでもUPできるようにしていきたいと思ひますし、それが利用者の声でもあります。

■活動の成果、地域の影響、今後の課題

ネットワークを利用して、共同受注をした案件がいくつか発生しています。また、他のネットワークとのつながりも出来ており、少しずつではあるが実績として成果があがっています。課題としては、事務局機能がまだ弱く、ネットワークとしての営業活動まで至っていないのが現状です。

地域ネットワーク「たまたま」参加施設

NO	施設名	作業内容
1	トーコロ青葉ワークセンター	メールサービス、情報処理、清掃、簡易作業
2	あしたば作業所	木工製品（パズル、組木）
3	コロニー東村山印刷所	印刷
4	福祉事業センター	時計組立・基板検査、部品計数・包装、自動車用ハーネス組立、他
5	平成の里	メールサービス、簡易組立、紙加工
6	サンワーク田無	砂糖詰め、ダイレクトメール、紙器加工、ギフトセット
7	そらの会お弁当クラブ	給食宅配
8	かりん共同作業所	資源回収、菓子製造、下請け、農耕、他
9	あさやけ作業所	牛乳パックの紙すき、縫製、自主製品等の販売、パソコンによる入力、割り付け、下請け
10	える・ぼいん	牛乳パックの紙すき、縫製、自主製品等の販売、パソコンによる入力、割り付け、下請け